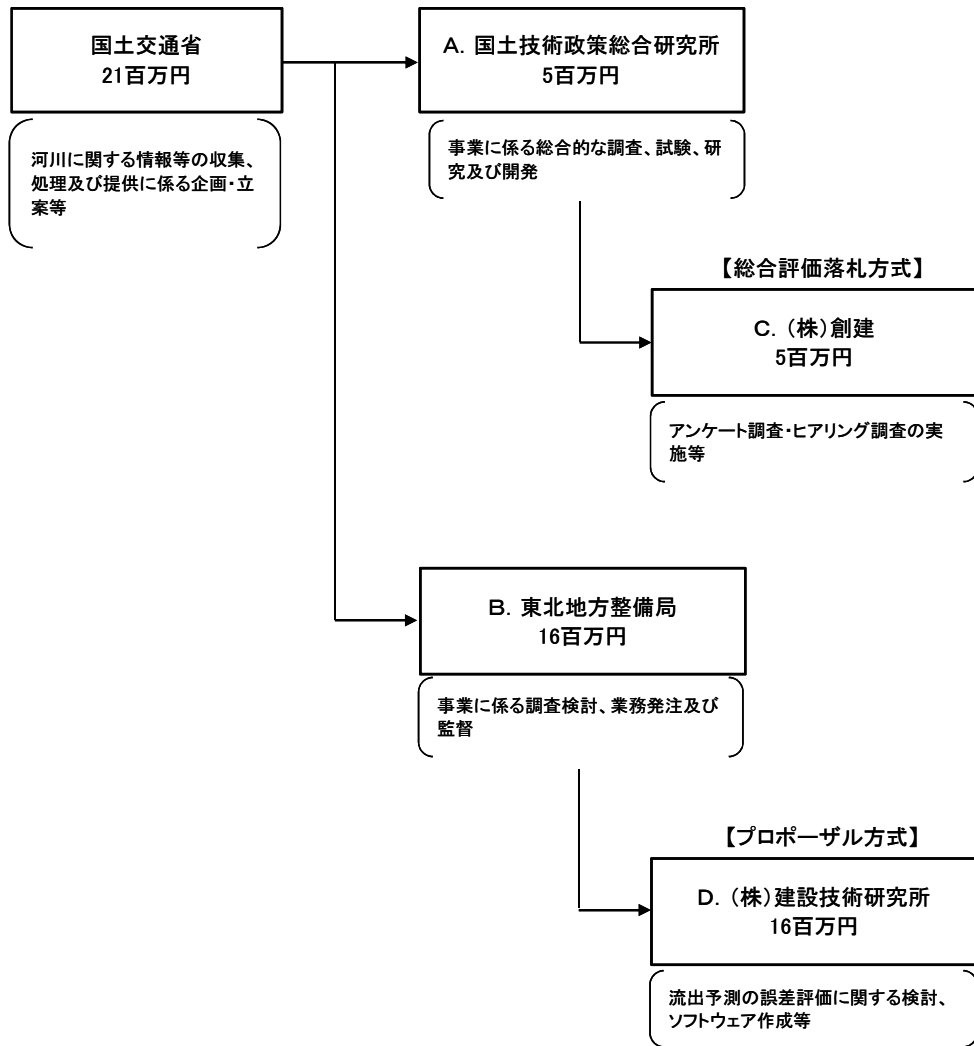


行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	洪水予報の高度化に関する検討経費	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	河川局	担当課室	河川計画課河川情報企画室	室長 五道仁実		
会計区分	一般会計	上位政策	水害・土砂災害の防止・減災を推進する			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	水防法(第10条)	関係する計 画、通知等	自然災害の「犠牲者ゼロ」を目指すための総合プラン (H20.4内閣府)			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	気候変化に伴う大規模水害の発生やはん濫危険性の増大に対し「犠牲者ゼロ」を実現するために、局地的な大雨や集中豪雨も視野に入れた洪水予測の高度化を図るとともに、洪水予測情報等の防災情報の確実な伝達を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	水災害時の水防活動や住民の適切な避難行動を支援するため、避難準備・行動時間等を考慮した洪水予測の精度向上について検討するとともに、自治体や水防関係者等への適切な防災情報伝達のあり方について検討する。					
実施状況	平成21年度は、流出解析における誤差を考慮したより精度の高い洪水予測を行うため、誤差の発生要因や時間的増幅傾向等に関する検討を行い、適切な誤差評価方法について提案した。また、洪水に関する防災情報の現状と改善の方向性について、都道府県、市町村及び水防関係者等に対するアンケート・ヒアリング調査を実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	23	18	0
	執行額	-	-	21		
	執行率	-	-	91.3%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	業務の契約額、支出先及び契約方式等を把握するとともに、業務の全体計画や進捗状況等について支出先との打合せ等により確認し、事業の効果的・効率的な実施に努めている。				
	見直しの 余地	調査事項、検討項目等のさらなる精査を行い、可能な限りのコスト縮減に努める。				
予算 監 視 の ・ 所 効 見 率 化	【事業廃止】 流出解析における誤差の発生要因の分析や防災情報の改善方策の調査など、避難準備や避難行動の時間等を考慮した洪水予測の精度向上に係る検討が進み、本事業の内容は概ね終了し、一定の成果が見込まれることから、廃止する。今後は、ゲリラ豪雨等で急激に水位が上昇する都市部の中小河川等を対象に、洪水予報の一層の高度化に向け、より実効性のある事業手法の検討を行う。 ただし、各種のマニュアル、指針、資料、手引き案、評価方法などが成果とのことであるが、このような資料がどの程度利用されて、政策目標を達成したかが真の成果ではないか。行政評価では、作成物はアウトプット、作成物の効果をアウトカムと呼称するが、政策評価は操作不可能なアウトカム指標で測定するべきと考える。					
補 記	【予算科目】 ・126 水害・土砂災害対策費 ・05-95 水害・土砂災害の防止・減災の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2123-09 水害・土砂災害対策調査費 23百万円 21百万円					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるよ
 うに記載)

A. 国土技術政策総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	洪水予報の高度化に関する検討経費	5			
計		5	計		0
B. 東北地方整備局			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	洪水予報の高度化に関する検討経費	16			
計		16	計		0
C. (株)創建			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	アンケート調査・ヒアリング調査の実施等	5			
計		5	計		0
D. (株)建設技術研究所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	流出予測の誤差評価に関する検討、ソフトウェア作成等	16			
計		16	計		0